

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 金 3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	経営と経済- 日本経済を見る眼と経済学 - Economics and Business(The Japanese Economy and Political Economy)		
対象年次 1・2 年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 高倉泰夫 /Eメールアドレス:takay@nagasaki-u.ac.jp /研究室:経済学部本館 306 /TEL:820-6395 /オフィスアワー: 金曜日 4 限			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:サブプライム危機に始まってまだ底が見えたとはいえない、現在の経済現象をどのように考えたらよいのかということについて、ただ一つの正しい答えがあり(?)それを覚えるというのではなく、むしろ考えるということに重点を置いて講義をする。経済学はただ一つということではないし、その見方もただ一つではない。 授業方法: レジュメと資料(毎回配布予定)に従いながら、講義をすすめる。ただしレジュメを読めばいいということではなく、それに付加されることが大変重要である。 授業到達目標: 現在の自分が置かれている経済社会の在り方を理解すること。そして、経済社会を見る目を養うというより、授業を基礎としながらも、それぞれに自分でいろいろな本などに取り組むことでさらにそのような眼を養うことを望んでいる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 上記の狙いなどと重なる。そして、経済社会の未来について考えることをしてほしい。 第1回(10/2) 現在の世界経済と日本経済で起きていること。 第2回(10/9) 第2回で見たことを経済学ではどうみたらよいのであろうか? 第3回(10/16) 国民所得とは? 第4回(10/23) 経済成長とは? 第5回(10/30) 豊かさとは。そして環境。 第6回(11/6) 資本制経済の歴史(1) 第7回(11/13) " (2) 第8回(11/27) " (3) 第9回(12/4) 現在の資本制経済をどう見るのか?(1) 第10回(12/11) " (2) 第11回(12/18) " (3) 第12回(1/8) " (4) 第13回(1/22) 人類にとっての資本制経済とは。 第14回(1/29) まとめ 第15回 まとめ			
キーワード	サブプライム危機。大不況。		
教科書・教材・参考書	特になし。ただし、参考文献の追加がある。		
成績評価の方法・基準等	定期試験 80%。レポート 20%。ただし、出席を毎回とり、講義の参考とする。(時に、講義の要点を要約してもらおうとも考えている)。		
受講要件(履修条件)	特になし。ただし、毎日の新聞などの情報(とくには経済)に触れ、何が起きているのかをつかんでおくこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日常の経済現象に接近できる眼を養うことを目標としている。		
備考(準備学習等)			